

会議名 財務常任委員会

日時 平成27年9月29日(火) 午後1時35分～午後1時54分

場所 第2・3委員会室

出席議員 委員長 伊藤隆信 副委員長 榊谷規子 委員 櫻井伸賢  
委員 大野慎治 委員 鈴木麻住 委員 塚本秋雄  
委員 相原俊一 委員 鬼頭博和 委員 須藤智子  
委員 梅村 均 委員 木村冬樹 委員 堀 巖  
委員 宮川 隆 委員 黒川 武 委員 関戸郁文

欠席議員 なし

説明員 総務部長 奥村邦夫、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 森山 稔、  
建設部長 西垣正則、消防長 今枝幹夫、教育こども未来部長 山田日出雄  
行政課長 中村定秋、同主査 酒井 寿、都市整備課長 高橋 太、維持管  
理課主査 田中伸行、上下水道課長 松永久夫、同主幹 石黒光広

事務局出席 議会事務局長 尾関友康、同主査 田島勝己

#### 付議事件及び審議結果

議案第73号	平成27年度岩倉市一般会計補正予算(第3号)	全員賛成 可決
議案第74号	平成27年度岩倉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成 可決

財務常任委員会（平成27年9月29日）

◎委員長（伊藤隆信君） ただいまより財務常任委員会を開催させていただきます。

当委員会に付託されました案件は議案2件でございます。これらの案件を逐次議題とさせていただきます。

審査に入る前に、当局。

◎総務部長（奥村邦夫君） きょう、議会最終日ということで、9月議会、当初上程させていただきました議案につきましては、全て御議決いただきまして、どうもありがとうございました。

本日追加で2件の補正予算をお願いしておりますが、駅のトイレですとか、下水道の賦課徴収の還付ということで、大切な予算でございますので、御審議いただきまして、御議決いただきますよう、よろしく願いをいたします。

◎委員長（伊藤隆信君） ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第73号「平成27年度岩倉市一般会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 当局の説明を省略します。

それでは、これより質疑に入ります。

歳出についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） 2点お願いします。

両方とも岩倉駅東西公衆便所整備事業についてであります。1点目は、駅西の公衆便所の関係では、平成26年度にも予算が上げられており、一定設計等が行われていると思われ。そういった点で、今回の新しい補正予算によります東西公衆便所設計委託料というところにつきましては、26年度に使われた予算が無駄にならないようにということをおっしゃるわけですが、そういう形にきちんとなっているのかどうか、その点についてお聞かせいただきたいと思っております。

◎維持管理課主査（田中伸行君） 昨年度設計をさせていただきました業務につきましては、途中で概算工事費ということで配置計画を見直すということに方針を決めましたので、詳細設計に係る部分の費用に関しては減額をいたしました。ですが、再配置計画ということで、ほかのところの場所につく

ったらどうだという検討がふえたこともありまして、トータル的には約13万円ほどの減額になったんですけれども、今回上げさせていただいた分に関しましては、その減額分を設計費の中で予算計上させていただいておりますので、前回やったものの余分に払うような、そういうふうには予算組みはしておりませんので、よろしくをお願いします。

◎委員（木村冬樹君） わかりました。

経過はいろいろお聞きしているところでありますので、本会議の質疑にもありましたように、駅西の分、非常に鉄道防護の費用等がかかるということで、やむを得ない措置かなというふうに思っておるところであります。

それでもう1点は、駅東のほうの公衆便所の設計というか簡単な図面が全員協議会で示されておりますが、これも狭い区域につくるということで、やむを得ないことなのかなとは思いつつも、でき上がったものを見て市民がどう思うかというところを考えますと、女性からの不満が出ないかなあという思いがあります。そういう点についてはどのようにお考えなのか、お聞かせいただきたいと思えます。

◎維持管理課主査（田中伸行君） 御意見はごもっともな御意見だと思っております。そこの今の案というふうにこちらは捉えておるんですけれども、まだまだこれから、この設計業務の中で、いろんな方の御意見を聞きながら、もうちょっと有効的な使い方があるのではないかなというようことは念頭に置いております。しかし、サイズの示させていただいた大きさが限界でありまして、スペースには限界があるので、その辺は御了承いただきたいと思えます。

◎委員（堀 巖君） 本会議の続きなんですけれども、鉄道防護で300万ということなんですけれども、6,000万の内訳で知りたかったのは本体の部分、いろんな諸費用を除いた本体の部分の坪単価が幾らになるかというところを聞きたかったんですけれども、さっきの答弁で坪540万という数字は、ただ単に割り返しただけで、それを市民の人が聞くと、それはちょっと華美じゃないかというふうに言われちゃいますので、そこら辺がわかるように説明をお願いしたいと思えます。

◎維持管理課主査（田中伸行君） 本体というところがございますが、ユニット製品ということでありまして、工場で作って持ってきて置くという形になりますので、基礎工事とかはそこには入ってないんですけれども、その金額が約1,600万円ほど見込んでおります。それを割り返しますと、約181万というところになります。比較になるかはわかりませんが、昨年、公園のトイレを3つつくったんですけれども、大体1,500万から1,000万円台

でおさまっております、ほかの一般の建物に比べれば高いというふうにはなるんですけども、これぐらいの規模でしたら、そんなに高くはないのではないかなというふうに認識をしております。

◎委員（黒川 武君） 設備についてお聞かせいただきたいと思います。

きょうび、どこの公衆トイレへ行っても、便座のところというのは、温水シャワーというんですか、しゅうっと出る、あれは大変快適でよろしいかなと。日本人でも少なくとも25%の方が痔でお悩みとも伺っておりますので、そういった設備、どのぐらいの価格差が出るかわかりませんが、できれば駅のトイレ、どなたでも使われるわけだから、ちょっとグレードがいいものを私は希望したいなあと考えておりますが、一度その辺についても御検討をお願いしたいと思います。

◎維持管理課主査（田中伸行君） 一番最初に高くなってしまったというところがあって、もう一度見直したというところがあるんですけど、駅西だけちょっと話をさせていただきますと、当初は、先ほど、今1,600万円ぐらいと、本体の価格でと言ったんですけども、それが実は倍だったんですね。それもユニバーサルデザインの委員の方の意見とか、ほかの名鉄、鉄道利用者の方がつくられるトイレとかを参考にして、すごい使いやすいようにというところを念頭に置いて、例えば駅を利用される方というのはかばんを持ってみえるので、スペースを広くとったりだとか、あと女性にも配慮した設計をしておったんですね。例えばお化粧直しができるスペースがとか考えていたんですけども、そしたらどんどん高くなってしまって、今の計画に落ちついているところがございます。

今のシャワーに関しましても、つけることは、多分費用的にはそんなに大きく差が出るものではないとは思いますが、ただ維持管理の面から考えますと、24時間オープンで、今でも駅のトイレというのは非常にいたずらが多くて管理に困っているところもございますので、今のシャワーまでというのは今のところ考えておりません。申しわけありません。

◎委員（関戸郁文君） 先ほどの説明の中で、いろいろな場所も検討されたというのがあったんですけども、具体的にどこの場所を検討して、その場所がなぜ採用されずに今の場所になったかを教えてください。

◎維持管理課主査（田中伸行君） まず1つは駅西の広場の南側ですね、「不二家」さんとかがある前のところで、小さい噴水があるところなんですけれども、あそこと、あとは南北に上がる階段がありまして、その間に、今、花壇になっているところがあると思うんですけども、そこの2点をちょっと比較しました。

結論から言いますと、まず今の便所をどかすということになりますと、先ほど一般質問でも部長が説明されましたけれども、あそこの土地は名鉄さんの土地を借りている土地になります。まず、改修をするに当たりまして名鉄さんをお願いしたのが、浄化槽までは撤去はできないというお話をさせていただいたんですね。浄化槽が4メートルぐらい入っていきまして、あれをまず撤去するのに、とてつもないお金がかかってしまうということがまずありました。ですが、それもひっくるめてもう一度、じゃあほかの場所で検討した場合に費用的にどうなんだということを検討しました。その浄化槽の撤去費用がとてつもなくかかってしまうということで、今の位置で建てかえることが、土地代もかかりませんし、浄化槽の撤去費用もかからないということでした。

もう1つ名鉄さんと話をしたのが、仮に便所じゃない、例えば倉庫として、違う用途として使わせてもらったらどうでしょうということも投げかけました。そしたら名鉄さんは、用途を変えるということであれば、あそこの土地というのは名鉄としても利用価値がある土地になるので、できれば便所として使ってくださいと。そういうことでないのであれば、当初の契約どおり更地で返してくださいという答えでした。

**◎委員（鈴木麻住君）** 二、三点お伺いしたいことがあるんですけど、まず今年度で設計と確認申請までという形で予算計上されています。これは西と東の建物の設計ですね。これから設計にかかるということだと思んですけど、これはまとめて設計委託するのか、分けて設計委託するのか、どういうふうかなというのと、工事はそれぞれ分けて発注するのか、一緒に発注するのか。多分、東をつくって、その後、西を壊して西を建てかえという形で考えられていると思うんですけど、同時進行なら同じところもということはあるんでしょうけど、どういうふう考えられているのかなという、お聞かせください。

**◎維持管理課主査（田中伸行君）** まず、設計に関しましては、両方同時というか、両方の設計を一括して発注して業務のほうをやります。工事に関しては、まだ決めていませんというのが本音なんですけれども、いろんな手続を考えると、一括で発注したほうがいろんなことがスムーズであるので、担当としては一括で発注したいなとは思いますが、これもこれから決めていきたいと思っております。あと指名審もございまして。

あと1つ、駅西に関しましては、非常に線路に近いということがございまして、名鉄のほうから、請負業者に鉄道監視員、工事指揮者という資格を持った方がいることが条件だというふうに条件がついておりますので、そこは

ちょっとつくところになります。

◎委員（鈴木麻住君） わかりました。

先ほどの駅西トイレの坪単価、工事費が1,600万ということですね。多少高目かなと思うんですけど、多分そこには設備のトイレブースとか、そういうのも全部含んでの値段だと思うんですけど、何か多少高目かなと思うんですけど、プランとか、大分グレードダウンしたという話なんですけど、あればまた後で見せていただきたいということと、東の部分の、先ほど木村委員が言われたように、女子トイレとして1つ、要するに男子トイレはあるんだけど、多目的というのが女子トイレという形なので、女子トイレという形のもの、あるいは男女兼用でもいいと思うんですけど、多目的とは別にそういうものを設置したほうが、女性に優しいというか、そうすべきじゃないかなと思うんで、ちょっと検討していただきたいと思います。

◎維持管理課主査（田中伸行君） ブースに関しましては、いろんなパターンが、僕もちょっといろいろ考えているところがございます、その中でいろんな方の意見を聞きながら、全ての方の御意見を反映させることはできないと思うんですけども、限りあるスペースの中で検討したいと思います。

◎都市整備課長（高橋 太君） ブースの話は、今、グループ長が申し上げたように、これから少しでもいいような形で検討はさせていただきますが、どうしてもスペース的に限りがございますので、最初、検討する中で、極端な話、男子は小だけで、大のほうは多目的でというような話もあったんですけど、そこまではさすがに、女性の方が嫌な思いをされるかなというようなところで今現在のところに落ちついているところがありまして、どうしてもスペースに限界があるというところが一番ネックでございます、これからよりよい方向に検討はするんですが、基本的な構造としては、今のものでいかに得ないかなというふうに思っております。よろしくお願ひします。

◎委員（鈴木麻住君） そういうお話であれば、今の東のトイレで多目的と書いてあるトイレの部分ですね、大きさが2,400の2,200ですか、これは多分、芯々の寸法だと思うんですけど、多目的トイレの最小寸法というのは、1,900角ぐらいあれば何とか対応できるという寸法——有効寸法ですけど——になると思うんですね。だから、その辺をもうちょっと検討していただければ、今の男女兼用のトイレもつけられるんじゃないかなというふうには思うんで、ぜひ検討してください。

◎都市整備課長（高橋 太君） 検討させていただきます。

◎委員長（伊藤隆信君） ほかがございませんか。

[挙手する者なし]

◎委員長（伊藤隆信君） これをもって歳出についての質疑を終わらせていただきます。

続いて、歳入の質疑に入ります。

質疑はございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） ないようですので、質疑を終結いたします。

次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 討論はないようでございますので、直ちに採決に入ります。

議案第73号「平成27年度岩倉市一般会計補正予算（第3号）」についての賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（伊藤隆信君） ありがとうございます。挙手全員であります。

採決の結果、議案第73号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第74号「平成27年度岩倉市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑を許します。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（伊藤隆信君） 質疑はないようでございますので、質疑を終結いたします。

次に、議案に対する討論に入ります。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（伊藤隆信君） 討論はないようでございますので、直ちに採決に入ります。

議案第74号「平成27年度岩倉市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（伊藤隆信君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第74号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと

決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は全て議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告文案につきましては、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 異議なしと認めます。そのように決しました。

以上で財務常任委員会を閉会いたします。どうもありがとうございます。